

ベタニヤホームだより

2015年12月
第116号



社会福祉法人 ベタニヤホーム
〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
電話 03 (3631) 0 4 4 4
FAX 03 (5600) 4 3 2 8
発行責任者 内海 望

「天使に導かれて」

評議員 田島靖則

映画好きの方ならご存知かもしれませんが、1996年に公開されたアメリカ映画、デンゼル・ワシントンとホイットニー・ヒューストンが主演した「The Teacher's Wife」(邦題: 天使の贈り物)は、実は終戦直後の1947年のアメリカ映画「The Bishop's Wife」(邦題: 気まぐれ天使)のリメイク版です。オリジナルである「The Bishop's Wife」(邦題: 気まぐれ天使)は、ケイリー・グラントとロレッタ・ヤングが主演した古めかしいモノクロ映画でした。デンゼル・ワシントン主演の現代版は、スランブに陥ったバプテスト教会の牧師を助ける黒人天使のお話。ケイリー・グラント主演のオリジナル版は、教会の建築資金の調達に苦しむ米国聖公会の主教を助ける、白人天使のお話です。困窮するルーテル教会牧師を助ける日本人天使のお話というのも、いつか観てみたいと願っています。

キリスト教の暦の中で、天使が一躍脚光を浴びる季節がクリスマスです。イエス様よりも半年早く生まれた洗礼者ヨハネの誕生を、その父ザカリアに告げた天使。マリアに受胎告知を行った天使ガブリエル。マリアのいなすけヨセフに、夢でお告げを与えた天使。野宿をしていた羊飼いたちに、キリストの誕生を知らせた天使と天の大軍。聖書の物語の中で、こんなにもたくさんのお話たちが一度に現れるのは、クリスマス物語だけです。キリスト教の歴史の中で、天使という存在は、曖昧な立ち位置を強いられてきたと言って間違いないと思います。天使は、文字通り天の使いであり、神様の意

思を伝え、神様の意思を表現するため、神と人の間に立つて働く特別な存在です。しかしその、神よりも人に近い存在であるということから、安易な天使崇拜が発生したことを、コロサイの信徒への手紙2章では「偽りの謙遜と天使礼拝にふける者」という言葉で警告しています。また、ヨハネの黙示録22章には、「わたしは、これらのことを聞き、また見たヨハネである。聞き、また見たとき、わたしは、このことを示してくれた天使の足もとにひれ伏して、拝もうとした。すると、天使はわたしに言った。『やめよ。わたしは、あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書物の言葉を守っている人たちと共に、仕える者である。神を礼拝せよ。』とあります。

しかしキリスト教はもちろんです、その母体となったユダヤ教においても天使の存在は明言されています。天使は昔々のお話で、今を生きる私たちには関係のない存在なのでしょうか？それともキリストの誕生を境に、天使たちは天界に引退してしまっただけで、一つの回答を与えようとしたのが、冒頭で紹介した映画の原作でしょうか。映画の中では、天使の存在は一部の関係者にだけ知られており、その天使が使命を終えて天に帰る時、すべての人の記憶からその存在は消されることになっています。

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れられた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたに告げるために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、

布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけているであろう。これがあなたに告げられたことである。」
(ルカ2:8-12)

羊飼いと職業は、自然の恵みに頼って羊たちを放牧し、育った羊たちをまた持ち主に返すという仕事です。悪天候や野獣の存在から身を守るための圧倒的な力が、彼らに備わっているわけではありませんが、ひるがえって考えますと、この私たちもまた、羊飼いたちのような心細さを常に感じながら生きて行くように思います。ここまで生き延びてこれたのは、自分の努力のたまものだと、胸張って言える人はどのくらいいるでしょうか？ここまで生き延びたのは、ただただ運が良かったから。ここまでやってこれたのは、ほぼ偶然のたまものだと言う人の方が、より誠実な人だと思ってしまう。でもその「運の良さ」や「偶然の巡り合わせ」は、本当にただの運や偶然だったのでしょうか？感謝すべき相手は、運や偶然なのでしょうか？

私たちは、神様が共に働いてくださったという確証を持っていないのです。キリストが私たちを背負って運んでくださったという記憶もありません。天使たちが誰かの姿を借りて、私たちを支えてくれたことも覚えてはいない。私たちの理性は、天使だけでなく神様の存在を認識することもできません。でも、私たちの記憶に残っていないのだとしても、神様は私たちを見守り、キリストは私たちの重荷を背負ってください、天使たちは私たちを支えるのだと、聖書の物語は私たちに教えます。クリスマスは、私たちが独りぼっちではない！という事実の発見にあります。クリスマスは、私たちが信じている人は幸いです。

★ ★ ★

～それぞれのクリスマス～



●クリスマスの飾りつけ●

こひつじ保育園

アドベントの期間になると、保育園はイエス様の御降誕を迎える準備をします。階段や玄関ホールは子どもたちの作ったリースや靴下で飾られています。画用紙のリースにシールを貼ったり、紙皿の中心をくり抜いた型を毛糸で巻いたり、思い思いの色で製作をしました。飾られた自分のリースを探して「私のはこれだよ」「これは〇〇ちゃんを作ってた」と楽しそうに友だちや保護者と話をする姿も見られました。今年は5歳児クラスの壁面を羊飼いとひつじの群れで飾りました。暗幕を貼っていると「先生たち、何してるの?」「あれだ

よ!クリスマスのだよ!」とクリスマスの話題で盛り上がる子どもたち。アドベント礼拝を重ねていくうちに、遊びの中で讃美歌を口ずさむ子どもの姿も見られます。礼拝の中で降誕の話を伝え、楽しみにクリスマスを迎えたいと思います。



「玄関のかざり」



「私のはこれ!」

●みんなのクリスマス●

文花子育てひろば

少しずつ街もクリスマス気分で色づいてきている今日この頃。来所する親子たちもクリスマスが待ち遠しいようです。リトミックの時間はクリスマスソングに合わせて親子で身体を動かします。交流室の中でも大きなツリーの布に自分で作ったビーズリースを付けます。細かい針金にビーズをいれる作業は難しいですが親子で協力して作ることができました。

今年のクリスマス会は5人のママたちが担当として中心になりプログラムを決めて楽しいクリスマス会にしよう頑張っています。ダンス部も始動開始です!



「玄関のクリスマスオーナメント」



「クリスマス会担当です」



「ビーズリース製作中」



「うさぎサンタ練習中」



「できたよ」

●おほしがひかる●

おひさま保育室

「おーほしがひかる ぴっかぴっかー」

今日もかわいい『おひさま聖歌隊』の歌が聞こえます。誰かが歌い始めるとそのうちみんなで大合唱。「おほしがひかる」「かみさまにかんしゃ」はみんなが大好きなこどもさんびかです。

テラスには今、ひな壇が並べられていて、その上を「橋を渡ろう」と遊んでいたのですが、いつの間にか壇の上に並んで、声を合わせて歌うようになりました。みんなで声を合わせて神さまを賛美してクリスマスを楽しみに待っています。



「かみさまにかんしゃ♪」



2015年 クリスマス特集



●クリスマス特集●

母子生活支援施設ベタニヤホーム

町はクリスマス一色となっています。クリスマスツリーやリース、オーナメントが飾られ、施設内もクリスマス一色です。

今年もイエス様の誕生をお祝いするために母子クリスマス会を聖パウロ教会で行いました。小勝牧師にクリスマス礼拝を行っていただき、あたりは神聖な空気に包まれました。祝会では合唱団『さくら』の皆さんによる美しいコーラスやゲームで盛り上がりました。



「今年もきれいに飾りました」

●クリスマスが教えてくれたこと●

菊川保育園

第一アドベントを迎え、気分も雰囲気もクリスマス色になってきました。5歳児クラスの降誕劇の練習にも力が入ります。

今年は保護者の方の協力の下、衣装を作って頂き、リニューアルした衣装に袖を通すことを楽しみにしていました。

劇の役決めでは、クリスマスについて話を進めると、「イエス様は神様の子ども。神様の親は誰なの？一人ぼっちで寂しいね。だから沢山人間を作ったんじゃない？皆がいるから寂しくないよ。」と子どもたちの声。イエス様だけでなく、神

様についての話も深まり、クリスマスから多くのことを教えてもらい考えさせられました。

イエス様を私たちに与えて下さった神様に感謝を覚え、子どもたちと共に喜びを感じるクリスマスを迎えることができました。



「自分の役を飾ったよ」



「新しい衣装にワクワク」

●献金箱づくり●

富士見保育園

園では、アドベント礼拝を守り、イエス様のお誕生を心待ちにしながら、今年も献金箱作りが始まりました。4歳児はクリスマスツリー、5歳児はリースをモチーフにして作っています。

今、幼児クラスでは、ビニールテープで3つ編みを編むのが流行っていて、それを使って、バッグや縄跳びを作っています。せっかくなのでみんなが頑張って作った3つ編みを活かそうと、リース型の献金箱を作る事になりました。献金箱を作る為には、3つ編みを十本以上も作らなければなりません。子どもたちにとってはとても根気がいるものです。しかし、諦めずに編み続け、色合いを考えたり、カラフルになるように更に編んだりし

ます。そうして何日もかけて出来上がった献金箱。家庭に持ち帰り、お手伝いをして、もらえたお金を貯め、クリスマスの日、神様の御用の為に献金します。

子どもたちが様々な想いで作った献金箱に集めたお金が、今日も明日も誰かの役に立ち、笑顔がいっぱいのクリスマスが迎えられるように。



「みんなで献金箱作り」



「出来上がったよ！」

法人活動状況

11月29日(土) 〔理事会・評議員会〕

議案第1号 平成27年度第2次補正予算(案)

審議の件

議案第2号 諸規則改正(案) 審議の件

①富士見保育園管理規程

②こひつじ保育園管理規程

議案第3号 菊川保育園定員変更(案) 審議の件

議案第4号 諸工事実施審議の件

①母子生活支援施設

・ベランダ物干し設置工事

・防犯カメラ設置工事

②富士見保育園

・大型遊具改修工事

議案第5号 富士見保育園 再雇用に関する件

他

●慎重審議の結果、すべての議案について承認・決定された。

12月12日(土) 役員クリスマス会

今年度は聖パウロ教会をお借りしてクリスマス礼拝を守り、こころ静かに主のご降誕を祝うことができました。

また、祝会は今年も東武ホテル内にあるヴェルデニールに場所を移して行われ、法人全体の職員が参加し、親睦のひと時をもった。

母子生活支援施設ベタニヤホーム

●赤い羽根共同募金●

10月1日(木)の都民の日に、学童さん達は赤い羽根共同募金活動を行いました。大きな声で募金を呼び掛ける子ども達に、労いの言葉を掛けながら多くの方々のご協力してくださいました。施設に戻った後は、みんなでお昼ご飯にお好み焼きを作ってお食べました。



〔錦糸町駅にて〕

●収穫感謝祭●

11月のサムエル会では収穫感謝礼拝を行い、日頃から買い物に行く事の多い、日吉屋さんに神様の恵みによって実った果物をお届けしました。

●リフレッシュ保育●

子育てやお仕事で日々忙しいお母様方にリフレッシュしていただけるよう、今年もリフレッシュ保育を行いました。あいにくの雨でしたが、高架下の雨にあたらぬ場所を使い、運動会をおこないました。走ったり、ジャンプしたり、みんな元気いっぱいでした。

菊川保育園

●ロープワーク●

子どもの運動遊びと称し、自然の中で遊びながらの体力づくりに取り組んでいます。猿江公園の大木や自然あふれる空間で、ロープを巻きつけるお手伝いを五歳児の子どもたちが行います。大木に張られた揺れ動く二本のロープの上に勇気を振り絞り、バランスを上手にとる子どもたち。保育園に戻るかと思わずに「先生たち、先に帰っていいよ」と夢中にさせるロープワークのゲームです。一度やると自信が付き、自発的にゲーム遊びを楽しみ、自然そのものが土台となっています。

子どもたちが保育園での一日の生活を終えた時、帰り際に「面白かったね」と感じてもらえるよう、保育者である私たち自身が遊びを楽しむことも大切です。講師の先生の指導を受けながら、園内研修にも取り入れています。自然の空間が、癒しだけでなく、遊びを通して子ども同士の仲間づくりが形成され、遊びが展開されています。



〔マットブランコ「よいしょ」〕



〔モンキーブリッジ「お〜っとと」〕

富士見保育園

●木の实拾い●

秋から戸外での活動を始めた0歳児クラスのことどもたちはすっかりお散歩にも慣れ、少し離れた公園や広場等にも行けるようになって来ました。

実りの秋と言われるように、公園や広場にはどんぐりや松ぼっくりなどの木の实が沢山落ちています。「これなあに？」と言いたげな子どもたちの表情に「これはどんぐりだよ、拾ってごらん？」と声をかけると、子どもたちは手を伸ばしてどんぐりを拾います。小さな手でどんぐりの感触を味わうと、その感動を伝えようと保育士の手に乗せてくれます。その後は子どもたちはどんぐり拾いに夢中。沢山のどんぐりが保育士の手の中に集められました。

季節の移り変わりとその美しさは、子どもたちの心に特別な感動を残してくれています。



「どんぐりみつけたよ」

こひつじ保育園

●地域活動●

地域の方に来ていただきクラスで過ごす体験保育を行っています。育児や離乳食の進め方など不安や悩みを抱えているお母様が多く0歳児はすぐに予約がうまります。

保育室に入ってきた母子は少し緊張した表情が見られますが在園児の子どもたちが新しいお友だちを歓迎するようにおもちゃを渡したり、抱きしめたりと微笑ましい関わりをみせてくれる中で刺激を受けて動き出します。手作りおもちゃに夢中になっていると「家でも作ってみようかな」と参考にしてください、「同じ年齢の子どもと遊ぶ機会がないので嬉しいですよ」と子どもを思う深い愛情を感じます。保育園にとっても地域の方たちと関われることはとても貴重な時間です。アンケートの中で「楽しかった」「相談できてよかった」などの言葉が励みになっていきます。これから地域の方たちとのニーズにあう活動を考えて行っていきます。



「一緒にあそぼうよ！」

文花子育てひろば

●ハッピーハロウィン●

10月30日、お母さんたちが中心になって活動するサンタサークル主催のハロウィンパーティーを行いました。10月の初めから考えていたゲームや飾り付けの製作をして準備しました。当日は皆のために蜘蛛の巣やお化けの飾りつけを頑張りました。子どもたちは思い思いの仮装に身を包んで来てくれました。オープニングはダンス部によるハロウィンダンス、曲は「クレイジーパーティーナイト」です。この日のために毎日練習しました。見ていた親子たちからは「すごい」と大歓声があがりました。ゲームは隠してあるカードを見つけ、モンスターを手作りの空気で倒すものです。子ども達は「やったあ」とモンスターを倒せて大満足でした。最後に魔法の呪文「トリックオアトリート」と唱えるとお菓子が入っている宝箱を開けることができました。パーティーは140組以上の親子が来所したこともあり大賑いでした。



「カボチャ男にお菓子取られちゃう」



「子どもたちもダンスに参加しました」

おひさま保育室

●地域の方との触れ合い●

お天気の良い日はお散歩に出掛けます。準備が整うとみんなでお祈りしてから「行ってきます」と出発です。

歌を歌ったり、おしゃべりをしながらにぎやかに歩いていきます。行き先は猿江公園。いつも同じ道を歩いているので、地域の方と顔なじみになりました。顔を見かけると「おはようございます」と元気な声でご挨拶。返事をしてもらうと嬉しくて何度も何度も声かけています。

また、大変親しくしてくださる方もいます。散歩の途中で機嫌が悪くなった子どもが座り込んでしまい、保育者が困っていると「一緒に手を繋いで良いかな？」と声を掛けて下さいました。一緒に手を繋いでもらって子どもたちは大喜びです。

地域の方に見守られながらお散歩ができる事にいつも感謝しています。



「一緒にお散歩嬉しいな」



「いつも見守って下さる方々」

ご協力ありがとうございました

〔平成27年10月～平成27年12月まで〕(敬称略)

●寄付・寄贈

〈母子生活支援施設ベタニヤホーム〉 高橋千明果樹園(姫りんご)・救世軍本営(ハムセット・クッキー)・クロスター(靴)・日東富士製粉(クリスマスケーキ)

〈菊川保育園〉 峯田みどり(ヨーヨー)・吉田今朝子(花)・深谷直江(花)・園児保護者(ベンチ・カルタ・金魚)・卒園児保護者(バザー用品・掃除機・健康器具)・菊川小学校PTA(レックウオーマー)・武田雄彦(CD)・江東橋5丁目町会・江五クラブ・さくらんぼの会・四季友遊会(寄付金)

〈富士見保育園〉 地域の方々(お花)

〈こひつじ保育園〉 在園児保護者(洋服 紙オムツ 絵本)・地域の方々(遊具)

〈文花子育てひろば〉 松尾佐枝子(さつまいも)・グランドハイアット東京(テーブルクロス)・バナナ・リパブリック(つみき)

〈おひさま保育室〉 渡邊昭三(お菓子)・加藤和子(リボン)・峯田みどり(衣類・手袋人形・バギー)

●ボランティア

〈母子生活支援施設ベタニヤホーム〉 関本武子(散髪)・キャリアアシスタント(学童学習会)・合唱団さくら(母子クリスマス会コーラス)

〈菊川保育園〉 中島清(包丁研ぎ)・及川栄子・厨子良子(絵手紙)・中村文子(ピース)・竹中一雄(陶芸)・上田晴世・菊池春子・松岡志津子・太田和子・園重子(保育補助)・西野陽奈(小学生ボランティア)

〈こひつじ保育園〉 中島清(包丁研ぎ)・渡辺朋子・

千坂菜々子(保育補助)

〈文花子育てひろば〉 民生児童委員・てーねんどすこい倶楽部子育て支援部・更生保護女性会ひまわり事業部・すみだ四季友遊会・後藤俊也・佐川弘子・田中美智子・大串紀代子(ひろばサポート)・石黒孝一(玩具修理)・小野塚和美・加納淳子・菊地由香(ステンシル)・及川栄子・坂西初枝・池上芙美子(絵手紙)・和田耕治・小川盛一郎・木下共子(環境整備)・藤崎由利子・柿沼昭子(お庭であそぼう)・堀湖麦・大久保希純・大岡陽哉・渡桜城・泉水香穂・大久保妃爽・泉水真央・堀藍月(親子ボランティア)・向島歯科医師会(歯科相談)・ライオン歯科衛生研究所(歯科講座)・すみだ花体操普及員会(すみだ花体操)・吉澤章夫・佐原弥生・川島まち子(やきいも会)・石澤貞郎(かざぐるま作り)・竹村純也・森永勲・墨田区更生保護女性会(クリスマス会)

〈おひさま保育室〉 渡邊幸子(散歩手伝い)・石橋わか・関谷柚葉(小学生ボランティア)・利用者(オーナメント)

編集後記

各施設では年末のせわしない中で、工夫を凝らしたクリスマス行事を行いました。それぞれ特徴を持った行事ができたと思っておりますが、それは行事を進めている側の感覚であって、もっとこうした方がよいという意見は案外、職員ではない方々からの方が的確であることもあります。どうぞ、これからも皆様方のご意見を私たちの事業に反映できるように、門戸を広げてまいりますので、ご理解、ご協力を賜ればと存じます。時節柄体調を崩しやすい時期です。くれぐれもご自愛くださいますよう。

